

地歴公民(日本史) 同志社大学 全学部日程 [文系] (2/5実施) 1/2

<全体分析>

試験時間 75 分

解答形式

全問記述式(設問記述・記号選択)

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易(易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

大問3題・小問61問(記述28・記号33)で、昨年と同じ。

出題の特徴や昨年との変更点

時代別では、近世・近代が約3割と多く、中世が約2割半ば、古代が約1割半ばとつづく。

原始・戦後からの出題はなかった。

分野別では、政治が5割弱、文化が約4割とつづく。

外交は小問1問と、出題がきわめて少なかった。

その他トピックス

Iアの波線部の正誤を問う問題、Iエの正しい文章の数を問う問題は、新形式。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記述 (設問) 選択 (用語8択・語群) 年代配列 ほか	古代・中世 政治	(1) 平安時代の「源」姓の人物、(2) 保元・平治の乱、 (3) 鎌倉幕府の成立過程 【設問ア】「良岑安世」の事績は難だが、消去法で解きたい。 【設問b】「源順」(『和名類聚抄』の编者)はやや詳細。【設問ケ】は2の「蓮華王院」がやや詳細だが、3が平忠盛の事績だと判断してほしい。【設問オ】【設問セ】などの年代配列で差がついただろう。	標準
II	記述 (設問・空欄補充) 選択 (用語4択) <史料>	近世 社会経済 政治 文化	(1) 幕藩体制下の流通構造、(2) 町奉行(享保期の新田開発)、 (3) 困米、(4) 江戸中後期の政治・社会思想 【設問ク】「与力」や【設問コ】「社倉」(義倉との区別)はやや詳細。なお、前提文(4)の『経済拾遺』は『経済録拾遺』の誤りと考えられる。	標準
III	記述 (設問・空欄補充) 選択 (用語4択)	近代 文化	(1) 明治初期の近代化政策と文明開化 (2) 大正・昭和戦前期の思想・学問 (3) 戦時下の国家主義の高まり 【設問ア】は1が明らかな誤りだが、3の『種の起源』の翻訳は1896年で、設問の「明治初期に翻訳された」に合わないため、複数解答となる。【設問セ】『蒼氓』(石川達三の作品)は詳細だが、消去法で解きたい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ①教科書中心の学習で高得点が可能である。全時代・全分野を丁寧に学習すること。
- ②本学ではテーマ史の出題が多く、また同じテーマが繰り返し出題される。時代ごとにテーマ整理を行いつつ、過去の問題を研究して、本学頻出のテーマ・用語についての知識・理解を深めておくこと。
- ③本学では記述式の分量が多く配点も高い。難しい漢字を含む用語も出題されるので、歴史名辞は必ず書いて覚えること。
- ④年代配列や時期・年代を特定する問題が出される。年表を利用して、時代や年代を常に意識しつつ学習を進めること。
- ⑤史料問題が出題されることがあるので、市販の史料集を用いて史料に慣れ親しんでおくこと。
その際、史料中のキーワード・キーフレーズに着目しながら内容を理解する姿勢で学習を進めたい。
- ⑥地名や場所を問う問題や、図版を利用した問題も出題されるので、教科書掲載の図表や写真にも注意を払うこと。